

協同組合の取り組みにも関連するSDGsの17の目標

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



- ・組合員の所得向上、金融・共済サービスの提供
- ・多重債務問題への取り組み
- ・困難を抱える女性や若者・高齢者・障がい者・生活困窮者等の就労支援や雇用促進
- ・途上国でのマイクロインシュアランスの普及支援

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



- ・国内における農林漁業の振興と安定供給
- ・発展途上国における農林漁業支援
- ・高齢者・障がい者等への配食事業
- ・こども食堂・フードバンクの運営
- ・移動購買

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を保障し、福祉を推進する



- ・病院・診療所・歯科等の運営／僻地医療の提供
- ・高齢者・障がい者等のケア事業／健康づくり・介護予防活動
- ・子育て関連事業／地域の見守り・助け合い活動
- ・交通安全啓発運動
- ・共済による医療保障の提供

全ての人に包括的かつ公正な質の高い教育を保障し、生涯学習の機会を促進する



- ・奨学金問題への取り組み／学習支援事業
- ・学生生活支援サービスの提供
- ・大学等における寄付講座
- ・環境教育・生涯学習への取り組み
- ・各種専門技術教育・職業訓練の提供

ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び少女のエンパワーメントを行う



- ・女性の雇用創出
- ・子育て支援事業
- ・女性が働きやすい職場環境づくり
- ・DV等から女性を保護するためのシェルター事業

全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を保障する



- ・森林・水田管理を通じた水資源の保全と生態系の保護
- ・「せっけん運動」の普及・促進

全ての人々に安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを保障する



- ・太陽光・風力・小水力・バイオマス発電事業
- ・バイオディーゼル燃料事業
- ・エコオフィス・エコ住宅等の促進

包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセントワーク）を促進する



- ・勤労者・非正規勤労者・失業者への金融支援サービス
- ・中小企業への金融サービスの提供を通じた成長支援
- ・農林漁業従事者への各種支援
- ・グリーンツーリズム等の持続可能な観光業
- ・人手不足の解消／共済を通じた成長支援

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



- ・地域包括ケアへの取り組み
- ・農林漁業におけるICT等の先進技術の普及・促進
- ・中小企業への金融サービスの提供を通じた成長支援

各国及び各国間の不平等を是正する



- ・国内外におけるフェアトレードの促進
- ・人権問題の啓発活動

包摂的で安全かつ強くしなやか（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



- ・コミュニティバス・買物バス・移動購買・介護タクシー等の運営
- ・シェルター事業等の一時的住宅支援／高齢者・子ども・障がい者等の「居場所」づくり
- ・地域の見守り・助け合い活動／交通安全インフラ整備
- ・農林業を通じた環境保全と防災／共済サービスの提供
- ・被災者を通じた被災者の生活再建支援
- ・災害救援活動／市民農園の提供／防災教育を目的としたイベントの開催

持続可能な生産消費形態を確保する



- ・食の安全確保と情報提供
- ・エシカル消費に関連した商品供給
- ・国内外におけるフェアトレードの促進
- ・森林資源の持続可能な利用
- ・フードバンク・リサイクル事業等を通じた資源効率の改善

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



- ・森林整備によるCO2吸収機能の発揮
- ・事業におけるCO2排出量の削減の取り組み
- ・屋上緑化・グリーンカーテン等の取り組み
- ・再生可能エネルギーの普及・促進
- ・グリーンボンドへの投資

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



- ・海洋への栄養分を供給するための森林整備
- ・商品購入を通じた海洋保全の取り組み
- ・海洋環境保全団体への助成事業
- ・漁場環境整備及び資源管理の推進

陸域生態系を保護、回復、持続可能な利用を推進し、持続的に森林を管理し、砂漠化に対処し、土地の劣化を阻止・逆転させ、生物多様性の損失を阻止する



- ・環境保全型農業の推進／在来種の保存
- ・森林資源の持続可能な利用
- ・森林整備による生物多様性の保全
- ・里山再生事業
- ・商品購入を通じた環境保全の取り組み

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



- ・ヒバクシャ国際署名活動の支援
- ・平和問題への取り組み
- ・核兵器廃絶の取り組み
- ・刑罰者・保護観察対象者等の就労・社会復帰の支援

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化



- ・「協同組合」というシステムそれ自体によるパートナーシップの構築
- ・国内外における協同組合間の連携
- ・国内における自治体、労働組合、NGO・NPO等との連携

SDGsってな～に？

サステナブル
ディベロップメント
ゴールズ

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの省略で、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき持続可能な開発目標のことです。左ページのように、17の目標があります。

貧困や飢餓、気候変動など人類や地球全体が直面する問題を解決し、誰一人として取り残さない世界を実現するために、世界各国で取り組みが進められています。

どんな活動がSDGsにあたるの？

給食食材の廃棄防ぐ

例えば、今年3月に行った、新型コロナウイルスによる休校措置に伴い、学校給食として使われる予定だった野菜4.3㌧を、JA松山市が松山市から買い取り、地域住民に無料配布したという活動

もSDGsの【目標12：つくる責任つかう責任】にあたります。

地元で栽培された農産物を無駄にすることなく、安定供給を図っています。

他にも、組合員や地域住民に向けて、金融や共済のサービスを提供することは、すべての人に豊かで健康的な暮らしを提供することにつながります。これはSDGsの【目標1：貧困をなくそう】【目標3：すべての人に健康と福祉を】【目標8：働きがいも経済成長も】【目標11：住み続けられるまちづくりを】にあたります。

その他、JA松山市のSDGsにつながる活動を6、7ページで一部ご紹介します。

協同組合の考え方やSDGsは似ている？

人々が自主的に結びつき自律した組織である協同組合は、組合員が共同で所有し民主的に管理する事業体を通じて、組合員共通の経済的・社会的・文化的なニーズに応える組織です。

JA綱領 ―わたしたちJAのめざすもの―

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

このように、JAは地域農業の振興や文化の伝承、福祉などへ貢献し、安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

“一人は万人のために、万人は一人のために”の考えのもと動くJAと、誰一人として、取り残さない世界を実現しようとするSDGs。ともに、豊かで暮らしやすい地域社会を築くために取り組んでいるといえます。

特集

JA松山市が取り組んでいるSDGs

最近よく耳にする「SDGs（エスディージーズ）」という言葉。持続可能な社会を実現するために、国連が定めた世界共通の17の目標です。

このSDGsを進めるうえで期待を寄せられているのが「協同組合」です。農業協同組合や漁業協同組合、森林協同組合、生活協同組合など、さまざまな種類があります。これら協同組合の理念と重なる「SDGs」。私たちが動くことで地域そして世界を変えることにつながります。

JA松山市が取り組んでいることが、SDGsとどのように関わっているのかをご紹介します。

生産者を支援し、所得の向上へ

JAの使命の一つである「生産者の所得向上」。生産技術を高める営農指導や、生産資材のコスト低減、JA自らが栽培技術や経営指導を目的に試験栽培する「農業経営」などを行い、支援しています。

また、当JAは障がい福祉サービス事業所と業務委託契約を結び、農業現場の人手不足解消や障がい者の就労支援を促し、サポートしています。



試験栽培を行い、生産者に栽培技術や経営指導を行っています



地域の包括ケア

松山市と「地域福祉・地域保健の推進に関する連携協定」を締結し、全ての住民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域福祉や保健を推進しています。活動拠点の提供として当JAの石井センターの敷地内に「松山市地域包括支援センター」を新設。地域と連携し、高齢者の暮らしを支えています。



地域住民の暮らしに寄り添い、安心を届けていきます



JA松山市 取り組んでい

当JAが行っている活動の多くが、同組合の精神である“一人は万人のた考えのもと動くことは、様々な問題をSDGsと深く関わる当JAの活動を



農業による環境保全

安心で安全な農作物を消費者に届けようと、通常よりも農薬と化学肥料を減らして栽培する「エコえひめ」に取り組んでいます。白ネギやトマト、水稻の生産部会で実践しており、生態系の保護にもつながり、環境保全型農業を実現しています。



人にも環境にもやさしい農業を実施しています



暮らしを守り支える



近くにスーパーがなく、自動車の運転もままならない高齢者などの「買い物弱者」を支えようと、子会社(株)松山生協と連携して、移動販売車「まる芽ちゃん号」を導入しています。食品を積み込み、山間部や過疎地域を運行しています。

食料の安定供給を図りながら豊かな暮らしを守り、高齢者の安否確認も行うことで、組合員や地域住民が住み続けられるまちづくりに貢献しています。



久万高原町や松山市の一部を運行する移動販売車



がすでに る「SDGs」

実はSDGsにつながっています。協めに、万人は一人のために”という解決へと導きます。一部ご紹介します。



食や農への理解促進へ

定年退職者や新規就農者に農業を教える「農業塾」や、次代を担う子どもたちに向けて食や農業の大切さを伝える「あぐりスクール」、地域住民を対象にした女性部活動、青壮年部による小学生への出前授業などを行っています。

作業や活動を通して、地域農業や地域振興について考え、理解を深めてもらいます。



子どもに野菜づくりなどを教える「あぐりスクール」



食の安全を提供

JAの本分である「安心で新鮮な地元農産物を消費者に届ける」ために、ふれあい産直市福音寺と、子会社(株)松山生協の店内に生産者コーナーを設けています。各生産者は栽培履歴を提出するほか、商品棚には生産者の顔写真を、商品には生産者名を記載し、責任をもって安心で安全な農産物の販売に努めています。

また、生産者は所得向上を目指して多品目栽培に挑戦したりと、働きがいを感じながら出荷しています。



安心・安全をピーアールしながら、地元の農産物を販売する「ふれあい産直市福音寺」